

パオちゃん's EYE

2017年6月1日 発行 No.2

自然観察会へ行こう！

倉敷市立自然史博物館1983年11月3日に開館しました。現在も継続して開催している自然観察会は1984年4月から始まり、今年5月14日の「おかやま自然担当54」で通算288回目を数えます。

自然観察会を始めるにあたって、どのような方向をめざすか、参加者の皆さんに自然の何をどのように観察していただくかといったことを話し合いました。自然を知るには、たとえば壊されてしまったものや壊されつつあるものを見に行くという方法もあります。言わばマイナスを見てプラスの方向をめざすものです。しかし、それはたぶん楽しい活動ではないでしょう。当館の自然観察会では、われわれ学芸員が良い、素晴らしいと思う自然を皆さんにも体感していただくことをめざしました。1992年からは、この年に発足した倉敷市立自然史博物館友の会とも協同して開催しています。友の会では独自の自然観察会も開催され、すでに通算500回を超えています。

当館は来年で開館35周年を迎えます。これまで様々な自然観察会を開催してきました。最近の動物分野では、ブッポウソウ目の3種の観察会を行っています。カワセミは、2002年に倉敷市の鳥に制定されたことを機に、最近では毎年、友の会がメインとなって観察会を開催されています。ブッポウソウは、2014年に特別展「幻の青い鳥ブッポウソウ」の開催を機に、毎年ヒナの巣立ち時期に合わせて観察会を開催しています。ヤマセミは越冬期に合わせて、昨年からは観察会を開催しています。これらはいずれも人気の高い鳥ですが、かれらの生活にできるだけ影響を与えないように配慮しながら自然観察会を行っています。



ブッポウソウ巣立ち観察会の様子

江田伸司(動物担当)

パオちゃんズアイに関するお問い合わせは

倉敷市立自然史博物館

〒710-0046 岡山県倉敷市中央 2-6-1

電話:(086)425-6037 FAX:(086)425-6038

E-mail:musnat@city.kurashiki.okayama.jp

博物館ホームページには
いろんな情報がいっぱい♪
「倉敷市立自然史博物館」で
検索してみよう！ パオより

